

地球惑星科学委員会IUGS分科会（第26期・第5回） 議事要旨

1. 日時：令和6年11月8日（金）16：30～17：20
2. 会場：オンライン会議（ZOOM）

出席：堀 利栄、上松 佐知子、大久保 泰邦、奥村 晃史、掛川 武、木村 学、黒柳 あずみ、齋藤 文紀、中田 節也、益田 晴恵、北里 洋
欠席：西 弘嗣、片岡 香子、久保田 好美、谷口 真人
傍聴：近藤 慈恩（日本学術会議）

3. 議事内容

（1）IUGS の活動報告

掛川委員長より IGC2024（韓国釜山大会）における、IUGS レセプション、Geoheritage セッションと日本向けプレスリリース、IUGS-IGS 国際評議員会等についての報告があった。さらに次期 IGC（IGC2028）開催国にカナダが決定した旨や、次期役員などについて情報共有があった。また北里委員より IGC 若手賞や次期役員について、齋藤委員より参加国や参加人数についての情報提供が行われた。Geoheritage については、掛川委員長から一般社団法人日本地質学会での説明会及びその後の報道についての報告があり、また今後の展開について中田委員及び北里委員から情報共有が行われた。

（2）IUGS新体制

掛川委員長より、IUGS新体制の構成員についての報告があった。北里委員より、今期から次期に継続する理事会委員を通じるなどして今後も情報共有の把握に努めることを確認した。

（3）各種委員会報告

齋藤委員より IGCP小委員会についての報告及びIUGSの今期における新委員会の役員や voting memberなどについての情報共有があった。大久保委員より2024年11月14日に開催される「日本学術会議総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会・日本学術会議地球惑星科学委員会IUGS分科会」が主催となる、日本学術会議公開シンポジウム「海底地質災害と洋上風力開発」についての紹介があり、北里委員より予定講演者についての情報共有があった。

（4）その他

掛川委員長より、学術会議への加盟国際学術団体に関する調査票について、提出前に分科会で回覧して情報共有する旨を確認した。

掛川委員長、北里委員、木村委員より、Geoengineering (Ethical Framework Principles) についてのAGUからの声明、国際共有を目指すデジタルアーカイブ化のDDE (Deep-time digital Earth)、及びAIベースのGeoGPT (AI chat pod) の情勢について情報提供があった。分科会において意見交換を行い、今後も随時、動向を注視しつつ情報共有を行っていく旨を確認した。

掛川委員長より学術会議の来年度の代表派遣についての紹介があった。

4. 配布資料

日本学術会議公開シンポジウム「海底地質災害と養生風力開発」案内